



平成 25 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 ナブテスコ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小谷和朗
(コード番号 6268 東証第 1 部)
問 合 せ 先 総務部長 中村 賢一
(T E L 03-5213-1133)

「確定給付企業年金制度」の終了について

当社は、社員の退職年金制度として確定給付企業年金制度（DB）および確定拠出企業年金制度（DC）を採用してまいりましたが、平成 25 年 4 月 30 日開催の取締役会において、確定給付企業年金制度（DB）を終了し、その全額を確定拠出企業年金制度（DC）に移行することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、今回の制度改定は、厚生労働省における確定給付企業年金制度（DB）終了の承認を前提としております。

1. 退職年金制度改定の目的

近年、日本経済の低迷や世界経済の急激な環境変化等の影響を受け、確定給付企業年金制度（DB）に係る年金資産の運用成績は大きく変動するようになりました。また、退職給付に関する会計基準の改定もあり、退職年金制度が企業業績に与える影響は大きくなってきています。

一方、社員にとっても少子高齢化に伴う医療保険費の上昇により、退職後に年金として受給するメリットが年々低下し、二つの退職年金制度を保持することへの懸念が生じてまいりました。

このような背景から、社員の老後のライフプランに対応し、且つ将来にわたり安定した年金給付を可能とする退職年金制度を構築すること、また経済環境等の変化による企業業績への影響を極小化し、経営の安定化を図ることを目的として、退職年金制度を改定することといたしました。

2. 退職年金制度の概要

確定給付企業年金制度（DB）を平成 25 年 7 月 1 日付で終了し、同制度を確定拠出企業年金制度（DC）に移行します。これにより、当社の退職年金制度は、確定拠出年金制度（DC）に一本化されます。

3. 業績に与える影響

今回の制度改定に伴い、平成 26 年 3 月期連結会計年度において約 10 億円の特別損失を計上する見込みであります。また、退職給付債務は約 52 億円減少する予定です。

以 上